

松平定信像 なぜ本校の社会科教室に！

桑高の生徒なら 社会科教室に烏帽子 狩衣姿の松平定信像があることを知っていると思います。今号は桑高の文化財ともいうべきこの定信像について分かったことを報告します。

まず、寛政の改革で有名な松平定信と桑名の関係ですが、1823年に定信の子である白河（現、福島県白河市）藩王定永が桑名藩 15代藩王として移封になったことから、桑名にも定信関係のものがもたらされたようです。たとえば 桑高の北にある照源寺には定信の墓があり、桑名城跡にある鎮国守国神社に祀られる守国大明神とは定信のことです。

さて本校の定信像の話に戻りますか 像を収めるアクリルケースに貼り付けてある銅像のカラー写真付き印刷物から この像の作者は銅像彫塑家の砂原放光であり この像をもとに有限会社桑名美術鋳物工業（桑名市小野山西 193）が写真の銅像を制作したのではないかと推定してきました。早速定信像の由来を尋ねるため この会社に電話をしましたか、通しませんでした。桑名市内の別の鋳物会社に問い合わせると すてに桑名美術工業はなくなっているとのことでした。幸運にも元経営者の名前とその後の勤務先まで教えてもらえたのですが、この勤務先もなくなっており、結局連絡を取れませんでした。

一方カラー写真の銅像は インターネットで検索の結果 福島県白河市にある南湖公園（定信が白河藩王時代に造った日本で最初の公園）内に「松平定信公之像」として造立されているものであることか分かりました。カラー写真は まさにこの銅像です。砂原放光は他にも「沢村栄治像」（史上最高の速球を投げたといわれる戦前の伝説的な巨人軍投手、三重県伊勢市出身、伊勢市営球場に銅像）、「田中正造（日本最初の公害といわれる足尾鉍毒事件で被害農民のために奔走）像」などを制作しています。これらの銅像は、やはり鋳物で有名な富山県高岡市で鋳造されていたので、一つの鋳造会社へ放光氏について問い合わせをしました。放光氏はすてに亡くなっているとのことでしたが 本校に放光の定信像があり、石膏製で青銅色に塗装がしてあることを話したら、たぶん銅像の原型たろうということでした。放光の銘も入っているはずといわれ その通りへら描きの銘か像の後ろ側にありました。

その後も南湖公園の銅像造立に関わった白河市にあるライオンクラブ、また白河市教育委員会、南湖神社などに問い合わせましたか、昭和58年に銅像が造立されたこと以外詳しいことは分かりませんでした。また南湖公園の銅像が 本校の定信像と異なりなせ刀を差した銅像になったのか新たな謎も生まれました。

桑高百年

(2)

2007/6/14

題字 荒木元浩
総務部 記念誌係



南湖公園（福島県白河市）の松平定信像



桑高社会科教室の松平定信像